



ソフトボール(少年男子)の投手

ソフトボールは野球と似たルールで行われますが、野球に比べてボールが大きく、投手は下手投げで投球します。出塁者は、投手の手からボールが離れるまで塁を離れることができません。試合は通常7回戦まで行いますが、7回を終了して同点の場合はタイブレーカー(無死2塁から試合を再開)により勝敗が決まるまで試合が続きます。

会期
平成31年9月29日(日)～
10月1日(火)

試合会場
少年 砂沼広域公園野球場
男子 柳原球場
少年 千代川運動公園野球場
女子 千代川中学校グラウンド

正式競技
ソフトボール 少年男子
Eボート 少年女子

デモンストレーションスポーツ

下妻市は
ソフトボール
Eボート

Interview

夢は国体選手

茨城国体が開催される平成31年に高校3年生となる下妻中学校男子ソフトボール部の飯塚真央さん(3年)と女子ソフトボール部の上原咲さん(3年)にインタビューしました。



上原咲さん 飯塚真央さん

Qソフトボールの魅力は——
飯塚 単純な内野ゴロでもセーフになったり、野球にはないスピード感です。
上原 一人だけすごい選手がいたとしても決して勝てない競技。チ

Q高校進学後の目標は——
飯塚 高校3年生の時の茨城国体は、下妻市がソフトボールの会場となるので、そこで活躍するのが自分の夢です。
上原 中学校の時に大きな大会に出られなかったので、高校では関東大会、インターハイ、国体などで勝ちたいです。

Q茨城国体で期待していること
飯塚 国体をきっかけにして競技の魅力に触れてもらうことで、ソフトボール人口が増えるとうれしいです。
上原 周りの友達などもソフトボールと野球の違いが分からなかったりするので、ソフトボールを知りたいのいいきっかけになればと思っています。

Q茨城国体に向け、市民の皆さんに一言——
飯塚 チームを応援したり、運営に関わってもらったりなど、多くの人に国体に参加してもらえるとうれしいです。
上原 国体に出場できるよう頑張りますので、応援よろしくお願います。



Eボート大会で奮闘する小学生チーム

の開催地です!!

Eボート

会期
平成31年 ※日程調整中

試合会場
鬼怒川大形橋上流左岸

Eボートの競技名は、誰でも(everybody)、簡単に(easy)、楽し(jenjoy)、交流(echange)、エコライフ(eco-life)、環境(environment)、緊急(emergency)などの頭文字からとっています。
競技はチーム戦で、漕手8人、鼓手1人、舵取1人の合計10人を1組とし、ゴム製の手漕ぎボートを用いてタイムトライアル方式でレースを行います。
毎年5月に茨城県大会が本市で開催されており、子どもからお年寄りまで幅広く参加できるスポーツです。

特集

茨城国体まで、あと1000日

(平成29年1月1日現在)

平成31年に国体が45年ぶりに茨城県で開催されることをご存じですか? 2年後に迫った国内最大のスポーツの祭典。下妻市は、ソフトボール(少年男子・少年女子)とEボートの開催地です。平成28年7月に茨城国体の全体会期が、12月にはソフトボール競技会の会期などが決定したことから、今月号では茨城国体や本市での開催競技についてご紹介します。

問い合わせ 生涯学習課 国体推進室 ☎45-8100

第74回国民体育大会(茨城国体)

平成31年9月28日(土)～10月8日(火)
(11日間)

大会愛称

いきいき茨城ゆめ国体

選手やボランティアをはじめ、国体に参加するすべての人々が、活気に満ちた、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典を創り上げていきます。

大会スローガン

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

国体にさまざまな形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるようにという想いを込めています。

国体とは
国民体育大会(国体)は、昭和21年から都道府県持ち回りで毎年開催されている国内最大のスポーツ大会です。都道府県対抗方式で行われ、男女総合優勝である「天皇杯」と女子総合優勝である「皇后杯」を目指し、都道府県代表の選手が熱戦を繰り広げます。茨城国体では、天皇杯・皇后杯の得点対象となる37の正式競技のほか、5つの公開競技と1つの特別競技、県内在住の方を対象とした31のデモンストレーションスポーツが行われます。

おもてなしの心で ～市国体推進室からのメッセージ～



下妻市教育委員会 生涯学習課(国体推進室) 菊池 哲也 課長

「いきいき茨城ゆめ国体」の成功に向けて、本市では全国から集まる選手、観客の皆さまを「おもてなしの心」でお迎えし、本市を訪れる皆さまが十分満足していただける、下妻ならではの魅力あふれる大会にできればと考えています。そのためにも市民の皆さまによる協力が不可欠です。大会には選手として参加するだけでなく、応援やボランティアスタッフで参加したり、フェイスブックの記事をシェアすることでPRのお手伝いをしたりと、さまざまな関わり方があります。45年ぶりの茨城県での開催、国体に関わることができる機会はそのうちありません。一緒に茨城国体の開催を盛り上げていきましょう。



運動会でイメージソング「そして未来へ」にあわせてダンスする児童たち(平成28年9月17日、高道祖小学校)

【イメージソングとダンス】
「そして未来へ」



茨城国体 ホームページ

全国より285作品の応募の中から選ばれた「そして未来へ」は、スポーツの祭典にふさわしく、ダイナミックな広がりを感じられ、みんなが元気になれる軽快な曲です。イメージソングにあわせたダンスは、皆さんの参加意識を高め、初心者から経験者まで楽しく参加できる振り付けに仕上がりました。いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会ホームページからイメージソング、ダンスの動画の視聴や音源、楽譜、振付解説書などがダウンロードできます。

アンテナは頑張っている人を見ると反応! 背中の翼でどこへも行けて、輝くみんなに夢と幸運を届けます!

左手の緑のハートからは「夢を描くパワー」が出てくるよ!

右手のオレンジのハートからは「勇気のパワー」が出てくるよ!

【大会マスコット】
いばラッキー

はるかな未来にある、幸運のエネルギーでできたラッキー星のカケラが弾けて、地球の茨城までやってきました。好奇心旺盛で、頭のアンテナで幸運の届け先を探し、みんなに夢と幸運を届けます。

みんなが応援しよう!
茨城国体